

議 事 録

会 議 の 名 称	第 2 0 回玉里学園義務教育学校開校準備委員会																																																								
開 催 日 時	令和元年 6 月 1 1 日 (火) 1 9 時 0 0 分～																																																								
開 催 場 所	玉里保健センター 集団検診室																																																								
出 席 者	<p>【出席委員】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>相澤 博文</td> <td>市村 勝則</td> <td>伊藤 岳快</td> <td>大山 敏治</td> </tr> <tr> <td>亀井 研一</td> <td>室町 恭司</td> <td>久保田香織</td> <td>遠藤 康子</td> </tr> <tr> <td>上田貢一郎</td> <td>西村 恵子</td> <td>中山 恵弘</td> <td>大関 律子</td> </tr> <tr> <td>堀川 和男</td> <td>稲田 義弘</td> <td>園部ゆかり</td> <td>新妻 広章</td> </tr> <tr> <td>皆川 修</td> <td>相澤 牧夫</td> <td>田山 恵子</td> <td>吉永 成範</td> </tr> <tr> <td>大枝 利任</td> <td>渡邊 信幸</td> <td>鶴町 文男</td> <td>吉倉 一郎</td> </tr> <tr> <td>亀井 優</td> <td>宮田 実</td> <td>藤田 泰正</td> <td>室町 弥</td> </tr> <tr> <td>大山 徳</td> <td>佐川 智美</td> <td>原田 啓司</td> <td>向後 鷹宏</td> </tr> <tr> <td>笹目 賢一</td> <td>山口 智志</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>【欠席委員】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>狩谷 孝則</td> <td>橋本 昌弘</td> <td>大和田智弘</td> <td>戸田 見成</td> </tr> <tr> <td>大槻 良明</td> <td>中嶋 正也</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>【事務局】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>加瀬 博正</td> <td>中村 均</td> <td>白井 律子</td> <td>狩谷 秀一</td> </tr> <tr> <td>菅谷 清美</td> <td>片岡 理一</td> <td>長島 正昭</td> <td>植田 薫</td> </tr> <tr> <td>入野裕美子</td> <td>田口 智大</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	相澤 博文	市村 勝則	伊藤 岳快	大山 敏治	亀井 研一	室町 恭司	久保田香織	遠藤 康子	上田貢一郎	西村 恵子	中山 恵弘	大関 律子	堀川 和男	稲田 義弘	園部ゆかり	新妻 広章	皆川 修	相澤 牧夫	田山 恵子	吉永 成範	大枝 利任	渡邊 信幸	鶴町 文男	吉倉 一郎	亀井 優	宮田 実	藤田 泰正	室町 弥	大山 徳	佐川 智美	原田 啓司	向後 鷹宏	笹目 賢一	山口 智志			狩谷 孝則	橋本 昌弘	大和田智弘	戸田 見成	大槻 良明	中嶋 正也			加瀬 博正	中村 均	白井 律子	狩谷 秀一	菅谷 清美	片岡 理一	長島 正昭	植田 薫	入野裕美子	田口 智大		
相澤 博文	市村 勝則	伊藤 岳快	大山 敏治																																																						
亀井 研一	室町 恭司	久保田香織	遠藤 康子																																																						
上田貢一郎	西村 恵子	中山 恵弘	大関 律子																																																						
堀川 和男	稲田 義弘	園部ゆかり	新妻 広章																																																						
皆川 修	相澤 牧夫	田山 恵子	吉永 成範																																																						
大枝 利任	渡邊 信幸	鶴町 文男	吉倉 一郎																																																						
亀井 優	宮田 実	藤田 泰正	室町 弥																																																						
大山 徳	佐川 智美	原田 啓司	向後 鷹宏																																																						
笹目 賢一	山口 智志																																																								
狩谷 孝則	橋本 昌弘	大和田智弘	戸田 見成																																																						
大槻 良明	中嶋 正也																																																								
加瀬 博正	中村 均	白井 律子	狩谷 秀一																																																						
菅谷 清美	片岡 理一	長島 正昭	植田 薫																																																						
入野裕美子	田口 智大																																																								
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門部会の構成 ・ 本年度スケジュール 																																																								
会 議 資 料	別 紙 (会議次第、 ほか)																																																								
記 録 方 法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録																																																								
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 (傍聴者 0 人)																																																								

【教育長あいさつ】

お忙しいところ、お集まりいただき、ありがとうございます。

令和3年4月の開校に向け、皆様のご意見をいただきながら、すばらしい学校をつくっていきたいと考えております。

また、会議の名称についてですが、新しい学校の名前が「小美玉市立玉里学園義務教育学校」に正式に決定しましたので、今年度より「玉里学園義務教育学校開校準備委員会」に変更したいと思いますので、よろしくお願いいたします。

今年度は、特に各専門部会の協議が、大変重要になると思います。

今後ともよろしくお願いいたします。

【委員長及び副委員長選出】

事務局 昨年度まで委員長を務めていただいた玉里中学校羽鳥校長と副委員長を務めていただいた玉里東小学校圓尾校長の退職のため、委員長、副委員長が不在となっている。

開校準備委員会設置要綱第6条2項では、「委員長及び副委員長は、委員の互選によりこれを定める」と規定されているが、委員長及び副委員長について、意見はあるか。

委員長に大山 徳委員、副委員長に吉永 成範委員を推薦する声あり。

委員長に大山 徳委員、副委員長に吉永 成範委員を選出。

【委員長あいさつ】

今年度の開校準備委員会委員長に推薦されました、大山 徳と申します。

皆様のご協力よろしくお願いいたします。

【副委員長あいさつ】

同じく副委員長に推薦されました、玉里中学校の吉永 成範と申します。

どうぞよろしくお願いいたします。

【協 議】

(1) 専門部会の構成

◆資料1に基づき、事務局より説明

委員長 専門部会の部会員構成については、事前に調整していただいているため、確認をお願いしたい。

【協 議】

(2) 今年度のスケジュールについて

<スケジュールについて>

◆資料2に基づき、事務局より説明

委員長 今年度のスケジュールについて、準備委員会は、本日と、10月、12月、3月の計4回を予定している。

また、専門部会のスケジュールについても、併せて確認をお願いしたい。

<校章デザインについて>

◆資料3-1、3-2、3-3に基づき、事務局より説明

委員長 まず、資料3-3 校章デザインの決定までのスケジュール及び決定方法について、デザイン決定までの流れの説明があった。

総務・通学部会において複数点に絞ったのち、最終的に準備委員会において1点を決定するという流れとなっている。

決定方法について、「準備委員会での意見交換ののち、準備委員による投票において、得票数の最も多かったデザインを、校章デザインに決定する」として良いか。

— 意見等なし —

委員長 それでは、提案のとおり進めさせていただく。

続いて、資料3-1 校章デザイン案募集要項 について、選定基準に（3）デザインの説明に対する内容の明確性を追加し、デザインの図だけでなく、説明も審査の対象とするというという提案である。

このことについて、何か意見等はあるか。

また、そのほか募集要項について、意見等はあるか。

委員 準備委員会では、これまでに「新しい学校をどんな学校にしたいか」というコンセプトを話し合い、施設整備にあたっての方針を作成した。

新しい学校のコンセプトについて、知らない人も多いと思うが、会議を重ね、作成してきたのだから、募集要項の条件を明確に示し、応募する方に準備委員会の意思を伝えたほうが良いと思う。

委員長 新しい学校のコンセプトについて、意見があった。

新しい学校の教育目標としてのグランドデザインについては、主に学校運営部会において検討している。

事務局 新しい学校のコンセプトについては、グランドデザインのほか、施設整備方針として、「豊かな自然環境の中で真剣な瞳と輝く笑顔があふれる学び舎」というテーマが決定している。

委員 どのようなコンセプトの下で協議を進めているか、応募する方にはできるだけ知ってもらったほうが良いと思う。

委員 グランドデザイン案について、教育目標は、「たまり」の頭文字をとって、「たくましく まごころあふれる りりしい児童生徒の育成」としている。

今年度から、統合する4校において、共通する教育目標として、PTA総会等でも説明しているため、新しい学校の教育目標として、今後浸透してくるのではないかと思う。

また、グランドデザインのうち、教育課程では、「学び合い」、「郷土学習」、「外国語活動」が3つの柱となっており、この中から募集要項に載せる内容を選択するのは難しい。

そのため、グランドデザインは、参考として、募集要項の裏面に載せるのが良いと思う。

しかし、応募する方が、グランドデザインの内容を反映した校章デザインを作成するのは難しいため、それぞれ応募する方に、デザインに「玉里」を表現してもらうのが一番良いと思う。

事務局 校章デザインの募集要項は、市報等への掲載も予定しているため、紙面の都合上、グランドデザインや施設整備方針を全て掲載するのは難しい。

そのため、市ホームページにグランドデザインを掲載した上で、募集要項にはグランドデザインや施設整備方針を抜粋した内容を、参考として要項に明記してはどうか。

委員長 事務局の提案のとおりとして良いか。

—意見等なし—

委員長 それでは、提案のとおり進めさせていただく。
そのほか、意見等はあるか。

委員 選定基準に（3）デザインの説明に関する内容の明確性を追加するのは良いと思う。

そのため、校章デザイン案応募用紙の「説明」欄にも、デザインについて、具体的な説明を記入するよう、明記してはどうか。

事務局 準備委員会の協議の結果、（3）を選定基準として追加することが決定すれば、応募用紙の「説明」欄に、デザインの説明を記入するよう、明記する。

委員長 校章デザインの選定基準について、（3）デザインの説明に対する内容の明確性を加えても良いか。

—意見等なし—

委員長 それでは、提案のとおりとする。

<制服・体操服について>

◆資料4に基づき、事務局より説明。

委員長 スケジュールや検討事項について、何か意見はあるか。
また、今後の細かい調整事項について、総務・通学部会による検討の上、10月の委員会に報告するとして良いか。

委員 制服のエムブレムについて、デザインに校章を使用することは可能か。

事務局 事業者を確認したところ、制服のエムブレムのほか、体操服についても、校章を使用することは可能であるため、7月に予定している総務・通学部会において、制服及び体操服に、校章を使用するかどうかを検討し、調整を進めたいと思う。

委員長 そのほか、意見等はあるか。

— 意見等なし —

委員長 それでは、報告のとおり進めさせていただく。

<通学について>

◆資料5に基づき、事務局より説明

委員長 まず、通学に関するアンケート調査について、調査項目など意見はあるか。

委員 調査項目の統合後の通学距離について、通学路が決定していない時点で、通学距離を回答するのは難しいと思う。

また、通学に要する時間及び距離とは、現在の通学時間と距離という理解で良いか。

そして、遠距離通学の距離は3kmとあるが、どの道を通るかによって、危険度も異なると思う。

委員 通学に関しては、今後調整する事項も多く、調査項目については、部会において改めて検討したいと思う。

また、通学路が決定していないなかでの通学距離の回答は難しいため、あくまで想定の通学路の通学距離を回答してもらおう。

今回のアンケート調査は、現況の把握を目的としており、今後も複数回、調査を実施する予定であるため、現況を確認しながら、検討を進めていきたい。

委員長 今回のアンケート調査は、今後の通学に関する議論において、現況を把握するための資料とするということで、了承いただきたい。
そのほか、調査項目に加えたほうが良い事項など、意見はあるか。

—意見等なし—

委員 ごみ焼却所の車との兼ね合いも議論してもらいたい。
交通量の多い道を通ることになると心配である。

委員長 今後、総務・通学部会で検討することとする。
そのほか、意見等はあるか。

—意見等なし—

委員長 それでは、報告のとおり進めさせていただく。

【その他】

◆事務局より、次回の準備委員会及び専門部会の日程について説明

閉会 (20:00)